

<地域公共交通計画の評価等結果の様式>

東郷町地域公共交通計画の評価等結果（令和7年4月～8年3月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
公共交通全体の利用者数： 214万人（令和元年度） → 214万人（令和8年度）	幹線バスのバスターミナル乗入れ、東郷・藤田医大バスの新設		【未達成】2,088,769人 令和6年度（2,081,994人）と比較して微増。巡回バス及び民間路線バスの利用者数は昨年度と同等であったが、デマンドタクシーの利用者数が約14%増加した。制度の周知が進んだため利用者が増加したと考える。	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き商業事業者や近隣自治体と連携した広域を含めた公共交通利用促進イベントを実施する。 町内全地区へのチラシ回覧等により本町の各種公共交通手段の更なる周知を図る。 町内各地区で開催予定の住民懇談会において、公共交通の利用促進を促す。 	
都市拠点内のバス停利用者数： 1,015人/日（令和2年度） → 1,200人/日（令和8年度）	待合・乗継・乗降環境の整備	町及びバス事業者の有する乗降データ	【未達成】1,144人/日 令和3年の本町バスターミナルの開設に合わせて巡回バス及び民間路線バスのバスターミナルへの乗入を開始したことで、利用者は順調に伸びていたが、令和5年度から、ららぽーと愛知東郷と徳重駅を結ぶバス（令和4年度実績：124人/日）が休止されたことにより、目標値には届いていない。	<ul style="list-style-type: none"> 引き続きバスロケシステム、GIFSデータの更新を行い、利用者へ乗り継ぎに係る情報を提供し、利便性の向上を図る。 デマンドタクシーや地域の輸送資源を活用した移動サービスの案内チラシにバスへの乗り継ぎ情報を掲載し、利便性の周知を図る。 町内各地区で開催予定の住民懇談会において、公共交通の利用促進を促す。 	
庁内他部署や複数の実施主体が連携・協働した取組の件数： 9件/年（令和元年度） → 12件/年（令和8年度）	デマンド型交通の導入、商業事業者と連携した利用促進策の展開	連携・協働した取組の件数	【達成】15件 庁内他部署、運行事業者、商業事業者及び近隣自治体と連携した公共交通利用促進イベントを実施した。地域の輸送資源活用事業として自動車学校のスクールバスの混乗化の実証運行を実施した。	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き連携・協働を継続実施する。 	
じゅんかい君の満足度（不満割合）： 19.3%（令和2年度） → 19.3%未満（令和8年度）	—	バス利用者アンケート（令和7年度実施）	【達成】14.9% 令和5年度に実施した中間評価では不満割合が29.8%と大幅に悪化したが、路線及びダイヤの日常生活への定着が進んだことで不満割合が減少したものと考えている。	<ul style="list-style-type: none"> 令和9年10月に実施予定の路線見直しに向けて、町内各地区の意見や要望を把握するために、町内14箇所で開催予定の住民懇談会を実施する。 	